令和５年７月２４日
弘　前　大　学

令和７(2025)年度入学者選抜における配点の予告について

令和 3 年 7 月に文部科学省から通知のありました「令和７年度大学入学者選抜に係る大学入学共通テスト実施大綱の予告」及び「令和７年度大学入学者選抜実施要項の見直しに係る予告」に基づき、実施教科・科目ついて令和 5 年 3 月 31 日付けで公表していましたが、大学入学共通テストの「情報Ⅰ」を含む、本学の入学者選抜において課す教科・科目の配点も含めた入学者選抜方法等について、別紙「令和７（2025）年度入学者選抜方法及び実施教科・科目等（予告)」のとおりとします。

また、令和７年度以降入学者にかかる「入学者受入の方針（アドミッション・ポリシー)」の変更も併せて公表します。

なお、内容については、今後変更される場合もありますので、令和６年に公表する令和７年度入学者選抜要項及び学生募集要項で必ずご確認ください。

※令和６(2024)年度入学者選抜からの主な変更点は，令和 5 年 3 月 31 日掲載の『令和７(2025)年度入学者選抜方法等の主な変更点について』にてご確認ください。

令和7（2025）年度

入学者選抜方法及び実施教科・科目等（予告）

※本内容は現時点でのものであり，変更となる可能性があります。
詳細については，令和7年度入学者選抜要項（令和6（2024）年7月公表予定）等で確認してください。

弘　前　大　学

令和5（2023）年　7月

令和７年度　各学部・学科等の入学定員（募集人員）

学部	学科・課程等	入学定員	募集人員 一般選抜 前期日程	募集人員 一般選抜 後期日程	募集人員 総合型選抜(※1) Ⅰ	募集人員 総合型選抜(※1) Ⅱ	私費外国人留学生入試
人文社会科学部	文化創生課程	110	60	15	(※3) 35		若干名
	社会経営課程	155	(※2) 国 55 数 35	20	(※4) 45		若干名
	計	265	150	35	80		
教育学部	学校教育教員養成課程 初等中等教育専攻 小学校コース	80	35	20		25	若干名
	中学校コース 国語専修	50	7				若干名
	社会専修		7				若干名
	数学専修		7				若干名
	理科専修		7				若干名
	音楽専修				3		若干名
	美術専修				3		若干名
	保健体育専修				5		若干名
	技術専修				3		若干名
	家庭科専修		3				若干名
	英語専修		5				若干名
	特別支援教育専攻	10	5	2	3		若干名
	養護教諭養成課程	20	14			6	若干名
	計	160	90	22	17	31	
医学部	医学科	(※10) 85【予定】	青森県定着枠 8【予定】 一般枠 35【予定】			青森県内枠 27【予定】 北海道・東北枠 15【予定】	若干名
	保健学科 看護学専攻	80	50			30	若干名
	放射線技術科学専攻	40	20			20	若干名
	検査技術科学専攻	40	20			20	若干名
	理学療法学専攻	20	12			8	若干名
	作業療法学専攻	20	10			10	若干名
	小計	200	112			88	
	心理支援科学科	10	10				若干名
	計	295	165			130	
理工学部	数物科学科	78	(※5) 数 19 数理 19	(※5) 数 6 理 10	24		若干名
	物質創成化学科	52	26	10	16		若干名
	地球環境防災学科	65	30	15	20		若干名
	電子情報工学科	55	29	9	(※6) 17		若干名
	機械科学科	80	36	20	(※7) 24		若干名
	自然エネルギー学科	30	10	11	9		若干名
	計	360	169	81	110		
農学生命科学部	生物学科	40	23	5	12		若干名
	分子生命科学科	40	20	8	12		若干名
	食料資源学科	55	27	7	21		若干名
	国際園芸農学科	50	27	8	(※8) 15		若干名
	地域環境工学科	30	16	5	(※9) 9		若干名
	計	215	113	33	69	0	
合計		1,295	687	171	276	161	

(※1)「総合型選抜Ⅰ」は大学入学共通テストを課さないものであり，「総合型選抜Ⅱ」は大学入学共通テストを課すものです。

(※2) 人文社会科学部「一般選抜(前期日程)」の「国」は個別学力検査における国語選択者，「数」は数学選択者の募集人員です。

(※3) 人文社会科学部文化創生課程「総合型選抜Ⅰ」の募集人員35人には，国際バカロレア枠3人を含みます。

(※4) 人文社会科学部社会経営課程「総合型選抜Ⅰ」の募集人員45人には，専門高校枠(高等学校等の商業又は情報に関する学科，総合学科(商業又は情報の単位を20単位以上修得した者))8人を含みます。

(※5) 理工学部「一般選抜」の「数」は個別学力検査における数学選択者，「数理」は数学及び理科選択者，「理」は理科選択者の募集人員です。

(※6) 理工学部電子情報工学科「総合型選抜Ⅰ」の募集人員17人には，専門高校枠(高等学校等(高等専門学校を含む)の工業，商業に関する学科，又は高等学校の総合学科)4人を含みます。

(※7) 理工学部機械科学科「総合型選抜Ⅰ」の募集人員24人には，専門高校枠(高等学校等(高等専門学校を含む)の工業に関する学科) 2人を含みます。

(※8) 農学生命科学部国際園芸農学科「総合型選抜Ⅰ」の募集人員15人には，専門高校枠(高等学校等(高等専門学校を含む)の農業，林業，水産，工業，商業，情報に関する学科)4人を含みます。

(※9) 農学生命科学部地域環境工学科「総合型選抜Ⅰ」の募集人員9人には，専門高校枠(高等学校等(高等専門学校を含む)の農業，工業に関する学科)3人を含みます。

(※10) 医学部医学科の募集人員は予定であり，変更する場合があります。

(注)総合型選抜の合格者が募集人員に満たない場合の欠員は，「一般選抜(前期日程)」の募集人員に加えます。

令和７年度　各学部・学科等の入学者選抜方法等（一般選抜）

一般選抜は，大学入学共通テスト及び下記の選抜方法により選抜を行います。

学部	学科・課程等	前期日程						後期日程				
		個別学力検査	小論文	面接	出願書類(※1) 調査書	出願書類(※1) 志望理由書	2段階選抜(※2)	個別学力検査	小論文	面接	出願書類(※1) 調査書	出願書類(※1) 志望理由書
人文社会科学部	文化創生課程	●	×	×	○	×	×	×	●	×	○	×
	社会経営課程	●	×	×	○	×	×	×	●	×	○	×
教育学部	学校教育教員養成課程 初等中等教育専攻 小学校コース	●	×	●	◎	×	×	×	×	●	◎	×
	学校教育教員養成課程 初等中等教育専攻 中学校コース 国語専修	●	×	●	◎	×	×					
	学校教育教員養成課程 初等中等教育専攻 中学校コース 社会専修	●	×	●	◎	×	×					
	学校教育教員養成課程 初等中等教育専攻 中学校コース 数学専修	●	×	●	◎	×	×					
	学校教育教員養成課程 初等中等教育専攻 中学校コース 理科専修	●	×	●	◎	×	×					
	学校教育教員養成課程 初等中等教育専攻 中学校コース 音楽専修											
	学校教育教員養成課程 初等中等教育専攻 中学校コース 美術専修											
	学校教育教員養成課程 初等中等教育専攻 中学校コース 保健体育専修											
	学校教育教員養成課程 初等中等教育専攻 中学校コース 技術専修											
	学校教育教員養成課程 初等中等教育専攻 中学校コース 家庭科専修	●	×	●	◎	×	×					
	学校教育教員養成課程 初等中等教育専攻 中学校コース 英語専修	●	×	●	◎	×	×					
	学校教育教員養成課程 特別支援教育専攻	●	×	●	◎	×	×	×	×	●	◎	×
	養護教諭養成課程	●	×	●	◎	×	×					
医学部	医学科	●	×	●	◎	◎	●					
	保健学科 看護学専攻	●	●	×	○	×	×					
	保健学科 放射線技術科学専攻	●	×	×	○	×	×					
	保健学科 検査技術科学専攻	●	×	×	○	×	×					
	保健学科 理学療法学専攻	●	●	×	○	×	×					
	保健学科 作業療法学専攻	●	●	×	○	×	×					
	心理支援科学科	●	×	×	○	●	×					
理工学部	数物科学科	●	×	×	○	×	×	●	×	×	○	×
	物質創成化学科	●	×	×	○	×	×	●	×	×	○	×
	地球環境防災学科	●	×	×	○	×	×	●	×	×	○	×
	電子情報工学科	●	×	×	○	×	×	●	×	×	○	×
	機械科学科	●	×	×	○	×	×	●	×	×	○	×
	自然エネルギー学科	●	×	×	○	×	×	●	×	×	○	×
農学生命科学部	生物学科	●	×	×	○	×	×	●	×	×	○	×
	分子生命科学科	●	×	×	○	×	×	●	×	×	○	×
	食料資源学科	●	×	×	○	×	×	●	×	×	○	×
	国際園芸農学科	●	×	×	○	×	×	●	×	×	○	×
	地域環境工学科	●	×	×	○	×	×	●	×	×	○	×

（※1）●医学部心理支援科学科では，志望理由書を段階評価します。
◎を付した学部等では，出願書類を面接の参考資料とします。
○を付した学部等では，調査書は評価しませんが，提出は必須です。

（※2）医学科の２段階選抜の詳細は，10ページを参照してください。

令和７年度　各学部・学科等の入学者選抜方法等（総合型選抜）

総合型選抜Ⅰは，大学入学共通テスト及び個別学力検査を免除して，下記の選抜方法により選抜を行います。
総合型選抜Ⅱは，大学入学共通テストを課し，個別学力検査は免除して，下記の選抜方法により選抜を行います。

学部	学科・課程等	総合型選抜 Ⅰ							総合型選抜 Ⅱ					
		小論文	レポート及び講義	面接（※3）	集団討論	実技（※3）	出願書類		小論文	面接	集団討論	ケーススタディ	出願書類	
							調査書（※1）	志望理由書又は学習計画書（※2）				の自学自習	調査書（※1）	志望理由書（※2）
人文社会科学部	文化創生課程	●	×	●	×	×	●	●						
	社会経営課程	●	×	●	×	×	●	●						
教育学部	学校教育教員養成課程 初等中等教育専攻 小学校コース								×	●	●	×	◎	●
	中学校コース 国語専修													
	中学校コース 社会専修													
	中学校コース 数学専修													
	中学校コース 理科専修													
	中学校コース 音楽専修	×	×	●	×	●	◎	×						
	中学校コース 美術専修	×	×	●	×	●	◎	×						
	中学校コース 保健体育専修	×	×	●	×	●	◎	×						
	中学校コース 技術専修	×	×	●	×	●	◎	×						
	中学校コース 家庭科専修													
	中学校コース 英語専修													
	特別支援教育専攻	×	×	●	●	×	◎	●						
	養護教諭養成課程								×	●	●	×	◎	●
医学部	医学科								×	●	×	●	◎	◎
	保健学科 看護学専攻								●	●	×	×	●	●
	保健学科 放射線技術科学専攻								●	●	×	×	●	●
	保健学科 検査技術科学専攻								●	●	×	×	●	●
	保健学科 理学療法学専攻								●	●	×	×	●	●
	保健学科 作業療法学専攻								●	●	×	×	●	●
	心理支援科学科													
理工学部	数物科学科	×	●	●	×	×	◎	◎						
	物質創成化学科	×	●	●	×	×	◎	◎						
	地球環境防災学科	×	●	●	×	×	◎	◎						
	電子情報工学科	×	●	●	×	×	◎	◎						
	機械科学科	×	●	●	×	×	◎	◎						
	自然エネルギー学科	×	●	●	×	×	◎	◎						
農学生命科学部	生物学科	●	×	●	×	×	◎	◎						
	分子生命科学科	●	×	●	×	×	◎	◎						
	食料資源学科	●	×	●	×	×	◎	◎						
	国際園芸農学科	●	×	●	×	×	◎	◎						
	地域環境工学科	●	×	●	×	×	◎	◎						

（※1）●を付した学部等では，「調査書」を評価し，面接の参考資料とします。
◎を付した学部等では，「調査書」を面接の参考資料とします。
（※2）人文社会科学部では，「学習計画書」を評価し，面接の参考資料とします。
●を付した学部等（人文社会科学部以外）では，「志望理由書」を評価し，面接の参考資料とします。
◎を付した学部等では，「志望理由書」を面接の参考資料とします。
（※3）教育学部（保健体育専修）では，「運動歴調査書」を評価して実技の得点に含め，面接の参考資料とします。

令和７年度　各学部・学科等の入学者選抜方法等（私費外国人留学生入試）

私費外国人留学生入試は，日本留学試験及び下記の選抜方法により選抜を行います。

学部	学科・課程等	私費外国人留学生入試 (※1)				
		日本留学試験 (※2)	個別学力検査	小論文	面接	実技
人文社会科学部	文化創生課程	○	×	●	●	×
	社会経営課程	○	×	●	●	×
教育学部	学校教育教員養成課程 初等中等教育専攻 小学校コース	○	×	●	●	×
	中学校コース 国語専修	○	×	●	●	×
	社会専修	○	×	●	●	×
	数学専修	○	×	●	●	×
	理科専修	○	×	●	●	×
	音楽専修	○	×	×	●	●
	美術専修	○	×	×	●	●
	保健体育専修	○	×	●	●	×
	技術専修	○	×	●	●	×
	家庭科専修	○	×	●	●	×
	英語専修	○	×	●	●	×
	特別支援教育専攻	○	×	●	●	×
	養護教諭養成課程	○	×	●	●	×
医学部	医学科	●	●	●	●	×
	保健学科 看護学専攻	●	×	●	●	×
	放射線技術科学専攻	●	×	●	●	×
	検査技術科学専攻	●	×	●	●	×
	理学療法学専攻	●	×	●	●	×
	作業療法学専攻	●	×	●	●	×
	心理支援科学科	●	×	●	●	×
理工学部	数物科学科	○	×	×	●	×
	物質創成化学科	○	×	×	●	×
	地球環境防災学科	○	×	×	●	×
	電子情報工学科	○	×	×	●	×
	機械科学科	○	×	×	●	×
	自然エネルギー学科	○	×	×	●	×
農学生命科学部	生物学科	○	×	●	●	×
	分子生命科学科	○	×	●	●	×
	食料資源学科	○	×	●	●	×
	国際園芸農学科	○	×	●	●	×
	地域環境工学科	○	×	●	●	×

(※1) 日本語能力の基準として，「日本語能力試験」の成績がN2以上であることを出願要件とします。

(※2) ●を付した学部等では，日本留学試験の成績を段階評価します。
○を付した学部等では，日本留学試験の成績を総合判定の資料とします。
理工学部では，受験を要する科目の総得点が満点の70％（850点満点中595点）以上であることを出願要件とします。

令和7年度　一般選抜における大学入学共通テストの受験を要する教科・科目（新教育課程履修者用）

教科・科目名 / 学部・学科名	国語	地理歴史				公民			数学①		数学②	理科					外国語	情報	
	国語	地理総合、地理探究	歴史総合、日本史探究	歴史総合、世界史探究	地理総合／歴史総合／公共	公共、倫理	公共、政治・経済	地理総合／歴史総合／公共（再掲）	数学Ⅰ	数学Ⅰ、数学A	数学Ⅱ、数学B、数学C	物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎	物理	化学	生物	地学	英語（リスニング含む）	情報Ⅰ	
人文社会科学部	◎ [1]	○	○	○ [1] ※	○	○	○ [1] ※	○	○	○	○	○	○	○	○	○	◎ [1]	◎ [1]	7教科8科目
		1又は2							1又は2			3	1又は2						
教育学部	◎ [1]	○	○	○	○	○ ※	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	◎ [1]	◎ [1]	6教科8科目から7教科8科目
		1又は2							1又は2			5	1又は2						
医学部 医学科	◎ [1]	○	○	○	○ [1]	○	○	○	×	◎ [1]	◎ [1]	×	○	○ [2]	○	×	◎ [1]	◎ [1]	6教科8科目
医学部 保健学科	◎ [1]	○	○	○	○ [1]	○	○	○	×	◎ [1]	◎ [1]	×	○	○ [2]	○	×	◎ [1]	◎ [1]	6教科8科目
医学部 心理支援科学科	◎ [1]	○	○	○	○	○ ※	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	◎ [1]	◎ [1]	6教科8科目から7教科8科目
		1又は2							1又は2			5	1又は2						
理工学部	◎ [1]	○	○	○	○ [1]	○	○	○	○	○ [1]	◎ [1]	○	●	●	○	○	◎ [1]	◎ [1]	6教科8科目
												2							
農学生命科学部	◎ [1]	○	○	○	○ [1]	○	○	○	○	○ [1]	◎ [1]	○	○	○	○	○	◎ [1]	◎ [1]	6教科8科目
												2							

（注）1. ◎は必須，●はいずれか1科目を必ず含むもの，○は選択科目を示しています。
2. □囲みの数字は受験科目数を表しています。
3. 大学入学共通テストで受験できる教科・科目の組み合わせについては，大学入学共通テストの受験案内で確認してください。
4. 「地理総合／歴史総合／公共」を選択する場合は，３つの出題範囲（「地理総合」，「歴史総合」，「公共」）のうち，２つを選択解答してください。
※　人文社会科学部，教育学部及び医学部心理支援科学科で，地理歴史及び公民から2科目を選択する場合の組み合わせは，別表（７頁）を参照してください。
5. 理科についてはAからDの選択パターンがあります。

A	「物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎」において 4つの出題範囲のうち2つを選択
B	「物理」，「化学」，「生物」及び「地学」の4科目から 1 科目を選択
C	「物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎」において 4つの出題範囲のうち2つを選択，並びに「物理」，「化学」，「生物」及び「地学」の4科目から 1 科目を選択
D	「物理」，「化学」，「生物」及び「地学」の4科目から 2 科目を選択

・人文社会学部及び教育学部ではA～D のいずれかのパターンから選択してください。
・医学部医学科及び保健学科では，D のパターンを選択してください。ただし，地学は選択対象外です。心理支援科学科では，A～Dのいずれかのパターンから選択してください。
・理工学部では，C 又はD のパターンを選択してください。ただし，いずれの選択においても，「物理」又は「化学」の科目を最低１つ含むことが必要となります。
・農学生命科学部では，C 又はD のパターンを選択してください。

6. 英語には，リスニングを含みます。リスニングを受験しない場合は，出願資格がなくなります。ただし，リスニングを免除された者は除きます。
配点については，リーディングとリスニングの合計得点を各学部・学科等の配点に換算して利用します。
なお，リスニングの受験を免除された者については，リーディングの成績を外国語の満点に換算して素点として利用します。

令和7年度　一般選抜における大学入学共通テストの受験を要する教科・科目（旧教育課程履修者用）

教科・科目名 / 学部・学科名	国語	地理歴史										公民							数学①				数学②					理科					外国語	情報		
	国語	地理総合、地理探究	歴史総合、日本史探究	歴史総合、世界史探究	地理総合／歴史総合／公共	＊旧世界史A	＊旧世界史B	＊旧日本史A	＊旧日本史B	＊旧地理A	＊旧地理B	公共、倫理	公共、政治・経済	地理総合／歴史総合／公共（再掲）	＊旧現代社会	＊旧倫理	＊旧政治・経済	＊旧倫理、旧政治・経済	数学Ⅰ	数学Ⅰ、数学A	＊※旧数学Ⅰ	＊旧数学Ⅰ、旧数学A	数学Ⅱ、数学B、数学C	＊旧数学Ⅱ	＊旧数学Ⅱ・旧数学B	＊旧簿記・会計	＊旧情報関係基礎	地学基礎／物理基礎／化学基礎／生物基礎／	物理	化学	生物	地学	英語（リスニング含む）	情報Ⅰ	＊旧情報	
人文社会科学部	◎ [1]	○	○	○	○	○	○ [1] ※	○	○	○	○	○	○	○	○ [1] ※	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	◎ [1]	○	○ [1]	7教科8科目
教育学部	◎ [1]	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	◎ [1]	○	○ [1]	6教科8科目から7教科8科目
医学部 医学科	◎ [1]	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	×	○	○	×	○	×	×	×	○	○	○	×	◎ [1]	○	○ [1]	6教科8科目
医学部 保健学科	◎ [1]	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	×	○	○	×	○	×	○	×	○	○	○	×	◎ [1]	○	○ [1]	6教科8科目
医学部 心理支援科学科	◎ [1]	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○	◎ [1]	○	○ [1]	6教科8科目から7教科8科目
理工学部	◎ [1]	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	●	○	○	◎ [1]	○	○ [1]	6教科8科目
農学生命科学部	◎ [1]	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	◎ [1]	○	○ [1]	6教科8科目

（注）1. ◎は必須，●はいずれか1科目を必ず含むもの，○は選択科目を示しています。
2. □囲みの数字は受験科目数を表しています。
3. 大学入学共通テストで受験できる教科・科目の組み合わせについては，大学入学共通テストの受験案内で確認してください。
4. 新教育課程の「地理総合／歴史総合／公共」を選択する場合は，３つの出題範囲（「地理総合」，「歴史総合」，「公共」）のうち，２つを選択解答してください。
※　人文社会科学部，教育学部及び医学部心理支援科学科で，新教育課程による地理歴史及び公民から2科目を選択する場合の組み合わせは，別表（７頁）を参照してください。
5. 理科についてはAからDの選択パターンがあります。

A　「物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎」において 4つの出題範囲のうち2つを選択
B　「物理」，「化学」，「生物」及び「地学」の4科目から 1 科目を選択
C　「物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎」において 4つの出題範囲のうち2つを選択，並びに「物理」，「化学」，「生物」及び「地学」の4科目から 1 科目を選択
D　「物理」，「化学」，「生物」及び「地学」の4科目から 2 科目を選択

・人文社会学部及び教育学部ではA～D のいずれかのパターンから選択してください。
・医学部医学科及び保健学科では，D のパターンを選択してください。ただし，地学は選択対象外です。心理支援科学科では，A～Dのいずれかのパターンから選択してください。
・理工学部では，C 又はD のパターンを選択してください。ただし，いずれの選択においても，「物理」又は「化学」の科目を最低１つ含むことが必要となります。
・農学生命科学部では，C 又はD のパターンを選択してください。

6. 英語には，リスニングを含みます。リスニングを受験しない場合は，出願資格がなくなります。ただし，リスニングを免除された者は除きます。
配点については，リーディングとリスニングの合計得点を各学部・学科等の配点に換算して利用します。
なお，リスニングの受験を免除された者については，リーディングの成績を外国語の満点に換算して素点として利用します。
7. ＊印のついた科目は，旧教育課程による出題科目です。
8. 旧教育課程の地理歴史においては，A・B出題科目，公民においては同一名称を含む出題科目同士の選択はできません。
9. 地理歴史・公民において新教育課程による出題科目と旧教育課程による出題科目を組み合わせて選択することはできません。
例　人文社会科学部の地理歴史・公民で，地理歴史を新教育課程の科目（「地理総合，地理探究」など）で選択した場合，公民も新教育課程の科目（「公共，倫理」など）を選択してください。旧教育課程の公民の科目（「旧現代社会」など）を選択することはできません。

令和7年度　一般選抜における大学入学共通テストの受験を要する科目

別表　地理歴史及び公民において2科目を選択する場合の選択方法について

		地理総合， 地理探究	歴史総合， 日本史探究	歴史総合， 世界史探究	地理総合／歴史総合／公共			公共， 倫理	公共， 政治・経済
					地理総合 及び 歴史総合	地理総合 及び 公共	歴史総合 及び 公共		
地理総合， 地理探究			○	○	×	×	◎	◎	◎
歴史総合， 日本史探究		○		○	×	◎	×	◎	◎
歴史総合， 世界史探究		○	○		×	◎	×	◎	◎
地理総合／ 歴史総合／ 公共	地理総合 及び 歴史総合	×	×	×				◎	◎
	地理総合 及び 公共	×	◎	◎				×	×
	歴史総合 及び 公共	◎	×	×				×	×
公共，倫理		◎	◎	◎	◎	×	×		×
公共，政治・経済		◎	◎	◎	◎	×	×	×	

人文社会科学部は，「◎」の組み合わせから選択できます。
教育学部及び医学部心理支援科学科は，「◎」及び「○」の組み合わせから選択できます。
「×」の組合せは選択できません。

令和7年度　入学者選抜の実施教科・科目等

人文社会科学部

学部名	入試区分	学科等名	大学入学共通テストの利用教科・科目名 教科	科目名等（※1）	個別学力検査等 教科等	科目名等	大学入学共通テストの配点 国語	地歴	公民	数学	理科	情報	外国語	計	個別学力検査等の配点 国語	数学	理科	外国語	小論文	面接	計	合計点
人文社会科学部	一般前期	文化創生課程	国 地歴 公民 数 理 外 情	「国語」を1 「地総，地探」，「歴総，日探」，「歴総，世探」，「地／歴／公」 から1（※2） 「公，倫」，「公，政・経」，「地／歴／公（再掲）」 から1（※2）（※3） 「数Ⅰ」，「数Ⅰ，数A」，「数Ⅱ，数B，数C」 から1又は2 「物基／化基／生基／地基」，「物理」，「化学」，「生物」，「地学」 から1又は2（※4） から3 「英語」を1 「情報Ⅰ」を1 ［7教科8科目］	国 外	現代の国語，言語文化 英語コミュニケーションⅠ・Ⅱ・Ⅲ，論理・表現Ⅰ・Ⅱ	200	100	100	100又200	100又200	100	200（*2）	900	300			300			600	1,500
		社会経営課程（国語選択）																				
		社会経営課程（数学選択）			数 外	数Ⅰ・数Ⅱ・数A・数B・数C（注1） 英語コミュニケーションⅠ・Ⅱ・Ⅲ，論理・表現Ⅰ・Ⅱ				300（*1）						300		300			600	1,500
	一般後期	文化創生課程 社会経営課程			その他	小論文（注2）	200	100	100	100又200	100又200	100	200（*2）	900					900		900	1,800
	総合Ⅰ	文化創生課程 社会経営課程	大学入学共通テストを課しません。 ただし，合格者は，大学入学共通テストを受験する必要があります。詳細については，募集要項をご覧ください。		その他	小論文 個人面接（プレゼンテーション含む）（注3） 出願書類（調査書，学習計画書）									小論文 200	面接 200		出願書類 100			合計点 500	

【大学入学共通テストの利用教科・科目等】

（※1）「新教育課程履修者」以外は，「旧教育課程履修者用」の科目を選択することが可能です。（6頁参照）
その場合は，各教科における科目について，新教育課程履修者用と照合の上，科目数不足とならないように注意してください。

（※2）「地／歴／公（「地理総合／歴史総合／公共」）」を選択する場合は，3つの出題範囲のうち，2つを選択解答してください。

（※3）地理歴史及び公民から2科目を選択する場合の組み合わせは，別表（7頁）を参照してください。

（※4）「理科」は次のA～Dのいずれかのパターンを選択してください。
A 「物基／化基／生基／地基」（「物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎」）において 4つの出題範囲のうち2つを選択
B 「物理」，「化学」，「生物」及び「地学」の4科目から 1 科目を選択
C 「物基／化基／生基／地基」（「物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎」）において 4つの出題範囲のうち2つを選択，並びに「物理」，「化学」，「生物」及び「地学」の4科目から 1 科目を選択
D 「物理」，「化学」，「生物」及び「地学」の4科目から 2 科目を選択
人文社会科学部では，「数学」，「理科」の組み合わせで成績を利用するため，科目数不足とならないよう注意してください。
（例）「数学」が1科目の場合は，「理科」はC又はDパターンでの受験が必要です。

【個別学力検査等】

（注1）数Aの出題範囲は「図形の性質，場合の数と確率」，数Bの出題範囲は「数列」，数Cの出題範囲は「ベクトル」とします。

（注2）一般選抜（後期日程）の「小論文」は2つの試験時間に分けられており，どちらも受験する必要があります。

（注3）総合型選抜Ⅰでは「調査書」及び「学習計画書」を評価し，個人面接の参考資料に用いて実施します。

【大学入学共通テストの配点等】

受験を要する教科・科目数を超えて受験している場合は，得点の高い教科・科目の成績を用います。
ただし，「理科」については，第1解答科目の成績を優先して用います。

(*1)「数学」「理科」「情報」の3教科4科目（数学2科目・理科1科目・情報，または数学1科目・理科2科目・情報）の得点のうち，得点が高い3科目（各100点満点）の成績を用います。

(*2)「英語」の配点については，リーディング（100 点満点）とリスニング（100 点満点）の合計得点（200 点満点）とします。
リスニングを免除された場合は,リーディングの成績を 200 点満点に 換算して利用します。

令和7年度　入学者選抜の実施教科・科目等

教　育　学　部

学部名	入試区分	学科等名	大学入学共通テストの利用教科・科目名 教科	科目名等（※1）	個別学力検査等 教科等	科目名等	大学入学共通テストの配点 国語	地歴	公民	数学	理科	外国語	情報	計	個別学力検査等の配点 国語	数学	理科	外国語	小論文	面接	計	合計点
教育学部	一般前期	学校教育教員養成課程 初等中等教育専攻 小学校コース	国	国語　を1	国	現代の国語・言語文化	200	100又は200		100又は200	100又は200	200	50	950	*400	*400	*400（注3）	*400		100	500	1,450
			地歴	「地総，地探」，「歴総，日探」，「歴総，世探」，「地／歴／公」	数	数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・数A・数B・数C（注1）																
			公民	「公，倫」，「公，政・経」，「地／歴／公（再掲）」	理	物理基礎，物理／化学基礎，化学／生物基礎，生物 から1（注3）																
			数	「数Ⅰ」，「数Ⅰ，数A」，「数Ⅱ，数B，数C」	外	英語コミュニケーションⅠ・Ⅱ・Ⅲ，論理・表現Ⅰ・Ⅱ																
			理	「物基／化基／生基／地基」，「物理」，「化学」，「生物」，「地学」	その他	個人面接（注4）																
			外	「英語」　を1																		
			情	「情報Ⅰ」　を1																		
				［6教科8科目から7教科8科目］																		
				（※1）「新教育課程履修者」以外は，「旧教育課程履修者用」の科目を選択することが可能です。（6頁参照）その場合は，各教科における科目について，新教育課程履修者用と照合の上，科目数不足とならないように注意してください。																		
				（※2）「地／歴／公（地理総合／歴史総合／公共）」を選択する場合は，3つの出題範囲のうち，2つを選択解答してください。																		
				（※3）地理歴史及び公民から2科目を選択する場合の組み合わせは，別表（7頁）を参照してください。																		
				（※4）「理科」は次のA～Dのいずれかのパターンを選択してください。 A「物基／化基／生基／地基」（「物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎」）において4つの出題範囲のうち2つを選択 B「物理」，「化学」，「生物」及び「地学」の4科目から1科目を選択 C「物基／化基／生基／地基」（「物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎」）において4つの出題範囲のうち2つを選択，並びに「物理」，「化学」，「生物」及び「地学」の4科目から1科目を選択 D「物理」，「化学」，「生物」及び「地学」の4科目から2科目を選択 （例）「地歴」，「公民」か「数学」のどちらかが1科目の場合は，「理科」はC又はDパターンでの受験が必要です。																		
		学校教育教員養成課程 初等中等教育専攻 中学校コース 国語専修			国	現代の国語・言語文化									400					100	500	1,450
					その他	個人面接（注4）																
		社会専修			国	現代の国語・言語文化									400					100	500	1,450
					その他	個人面接（注4）																
		数学専修			数	数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・数A・数B・数C（注1）										400				100	500	1,450
					その他	個人面接（注4）																
		理科専修			理	物理基礎，物理／化学基礎，化学／生物基礎，生物 から1（注3）											400（注3）			100	500	1,450
					その他	個人面接（注4）																
		家庭科専修			国	現代の国語・言語文化									400					100	500	1,450
					その他	個人面接（注4）																
		英語専修			外	英語コミュニケーションⅠ・Ⅱ・Ⅲ，論理・表現Ⅰ・Ⅱ												400		100	500	1,450
					その他	個人面接（注4）																
		特別支援教育専攻			国	現代の国語・言語文化									*400	*400				100	500	1,450
					数	数Ⅰ・数Ⅱ・数A・数B・数C（注2）																
					その他	個人面接（注4）																
		養護教諭養成課程			理	化学基礎，化学／生物基礎，生物 から1（注3）											400（注3）			100	500	1,450
					その他	個人面接（注4）																
	一般後期	学校教育教員養成課程 初等教育専攻 中等教育専攻 小学校コース			その他	個人面接（注4）	200	100又は200		100又は200	100又は200	200	50	950						200	200	1,150
		特別支援教育専攻																				
	総合Ⅰ	学校教育教員養成課程 初等教育専攻 中等教育専攻 中学校コース 音楽専修		大学入学共通テストを課しません。 ただし，合格者は，大学入学共通テストを受験する必要があります。 詳細については，募集要項をご覧ください。	その他	実技　＊ 個人面接（注4）　＊＊ ＊音楽専修の実技には，口頭試問を含む。保健体育専修の実技は，運動歴調査書を段階評価して得点に含める。 ＊＊美術専修及び保健体育専修の個人面接には，口頭試問を含む。また，技術専修では，実技で作成した設計書の発表及びその内容についての質疑応答を含む。										実技：300 面接：300（注4） 合計点：600						
		美術専修																				
		保健体育専修																				
		技術専修																				
		特別支援教育専攻			その他	集団討論 個人面接（注4） 出願書類（志望理由書）									集団討論：200 面接：200（注4） 出願書類：50 合計点：450							
	総合Ⅱ	学校教育教員養成課程 初等教育専攻 中等教育専攻 小学校コース	国	「国語」	その他	集団討論 個人面接（注4） 出願書類（志望理由書）	100	100	100	100	100	100		300	共通テスト：300 集団討論：200 面接：200（注4） 出願書類：50 合計点：750							
			地歴	「地総，地探」，「歴総，日探」，「歴総，世探」，「地／歴／公」																		
			公民	「公，倫」，「公，政・経」，「地／歴／公（再掲）」																		
			数	「数Ⅰ」，「数Ⅰ，数A」，「数Ⅱ，数B，数C」																		
			理	「物基／化基／生基／地基」，「物理」，「化学」，「生物」，「地学」																		
			外	「英語」　を1																		
				［3教科3科目］																		
				（※1）「新教育課程履修者」以外は，別紙「旧教育課程履修者用」の科目を選択することが可能です。（6頁参照）その場合は，各教科における科目について，新教育課程履修者用と照合の上，科目数不足とならないように注意してください。																		
				（※2）「地歴公（地理総合／歴史総合／公共）」を選択する場合は，3つの出題範囲のうち，2つを選択解答してください。																		
				（※5）「物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎」を選択する場合は，4つの出題範囲のうち2つを選択してください。																		
		養護教諭養成課程			その他	集団討論 個人面接（注4） 出願書類（志望理由書）									共通テスト：300 集団討論：200 面接：200（注4） 出願書類：50 合計点：750							

【個別学力検査等】
（注1）個別学力検査の「数A」の出題範囲は「図形の性質，場合の数と確率」，「数B」の出題範囲は「数列」，「数C」の出題範囲は「ベクトル，平面上の曲線と複素数平面」とします。
（注2）個別学力検査の「数A」の出題範囲は「図形の性質，場合の数と確率」，「数B」の出題範囲は「数列」，「数C」の出題範囲は「ベクトル」とします。
（注3）個別学力検査の「理科」の得点については，得点調整を行うことがあります。
（注4）一般選抜（前期日程・後期日程）の「個人面接」は，事前に提出される「調査書」を参考資料に用いて実施します。
総合型選抜Ⅰの音楽専修，美術専修及び技術専修の「個人面接」は，事前に提出される「調査書」を参考資料に用いて実施します。
総合型選抜Ⅰの保健体育専修では，事前に提出される「調査書」と「運動歴調査書」を参考資料に用いて実施します。 なお，「運動歴調査書」は実技の得点にも含めます。
総合型選抜Ⅰの特別支援教育専攻の「個人面接」は，事前に提出される「調査書」と「志望理由書」を参考資料に用いて実施します。
総合型選抜Ⅱの「個人面接」は，事前に提出される「調査書」と「志望理由書」を参考資料に用いて実施します。
いずれも「個人面接」の得点が低いと不合格になる場合があります。

【大学入学共通テストの配点等】
○一般選抜（前期日程・後期日程）の「英語」の配点については，リーディング（100 点満点）とリスニング（100 点満点）の合計得点（200 点満点）とします。リスニングを免除された場合は，リーディングの成績を 200 点満点に 換算して利用します。
○ 総合型選抜Ⅱの「英語」の配点については，リーディング（100点満点）とリスニング（100点満点）とし，合計点（200点満点）を100点満点に換算して利用します。リスニングの受験を免除された者は，リーディング（100点満点）をそのまま利用します。
○ 受験を要する教科・科目数を超えて受験している場合は，得点の高い教科・科目の成績を用います。ただし，「地歴」，「公民」及び「理科」については，第1解答科目の成績を優先して用います。
○ 総合型選抜Ⅱでは，大学入学共通テストの得点が著しく低い場合は，不合格となることがあります。

【個別学力検査等の配点等】
○ 配点に＊印を付している教科は，選択を表します。
○ 総合型選抜Ⅰの特別支援教育専攻及び総合型選抜Ⅱでは，「志望理由書」をA～Dに4段階評価し，点数化します。
各段階の評価点数は，A:50点，B:40点，C:30点，D:20点とします。

令和7年度　入学者選抜の実施教科・科目等

医　学　部

学部名	入試区分	学科等名	大学入学共通テストの利用教科・科目名 教科	大学入学共通テストの利用教科・科目名 科目名等（※1）	個別学力検査等 教科等	個別学力検査等 科目名等	大学入学共通テストの配点 国語	地歴	公民	数学	理科	外国語	情報	計	個別学力検査等の配点 国語	数学	理科	外国語	小論文	面接	出願書類	計	合計点
医学部	一般前期	医学科	国 地歴 公民 数 理 外 情	「国語」を1 「地総，地探」，「歴総，日探」，「歴総，世探」，「地／歴／公」 「公，倫」，「公，政・経」，「地／歴／公（再掲）」 から1（※2） 「数学Ⅰ，数学A」を1 「数学Ⅱ，数学B，数学C」を1 「物理」，「化学」，「生物」から2 「英語」を1 「情報Ⅰ」を1 ［6教科8科目］	数 外 その他 その他	数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・数A・数B・数C（注1） 英語コミュニケーションⅠ・Ⅱ・Ⅲ，論理・表現Ⅰ・Ⅱ 個人面接（注4） 個人面接（注4） ケーススタディの自学自習	200	100		200	300	200	50	1,050		300		300		300（注4）		900	1,950
	総合Ⅱ	医学科					200	100		200	200	200	50	950		共通テスト 950	面接 200（注4）	ケーススタディの自学自習 200	計 1,350				
	一般前期	保健学科 看護学専攻	国 地歴 公民 数 理 外 情	「国語」を1 「地総，地探」，「歴総，日探」，「歴総，世探」，「地／歴／公」 「公，倫」，「公，政・経」，「地／歴／公（再掲）」 から1（※2） 「数学Ⅰ，数学A」を1 「数学Ⅱ，数学B，数学C」を1 「物理」，「化学」，「生物」から2 「英語」を1 「情報Ⅰ」を1 ［6教科8科目］	数 外 その他	数Ⅰ・数Ⅱ・数A・数B・数C（注2） 英語コミュニケーションⅠ・Ⅱ・Ⅲ，論理・表現Ⅰ・Ⅱ 小論文 から1	200	100		200	200	200	50	950		*200		*200 200	200			400	1,350
		保健学科 放射線技術科学専攻			数 理	数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・数A・数B・数C（注1） 物理基礎・物理（注3）										200	200（注3）						400	1,350
		保健学科 検査技術科学専攻			理 外	物理基礎・物理 化学基礎・化学 生物基礎・生物 から1（注3） 英語コミュニケーションⅠ・Ⅱ・Ⅲ，論理・表現Ⅰ・Ⅱ											200（注3）	200					400	1,350
		保健学科 理学療法学専攻			数 外 その他	数Ⅰ・数Ⅱ・数A・数B・数C（注2） 英語コミュニケーションⅠ・Ⅱ・Ⅲ，論理・表現Ⅰ・Ⅱ 小論文 から1										*200		*200 200	200			400	1,350
		保健学科 作業療法学専攻			数 外 その他	数Ⅰ・数Ⅱ・数A・数B・数C（注2） 英語コミュニケーションⅠ・Ⅱ・Ⅲ，論理・表現Ⅰ・Ⅱ 小論文 から1										*200		*200 200	200			400	1,350
	総合Ⅱ	保健学科 看護学専攻 放射線技術科学専攻 検査技術科学専攻 理学療法学専攻 作業療法学専攻			その他	小論文 個人面接（注5） 出願書類（調査書，志望理由書）	200	100		200	200	200	50	950		共通テスト 950	小論文 100	面接 300（注5）	出願書類 100	合計点 1,450			
	一般前期	心理支援科学科	国 地歴 公民 数 理 外 情	「国語」を1 「地総，地探」，「歴総，日探」，「歴総，世探」，「地／歴／公」 「公，倫」，「公，政・経」，「地／歴／公（再掲）」 から1又は2（※2）（※3） 「数学Ⅰ」，「数学Ⅰ，数学A」 「数学Ⅱ，数学B，数学C」 から1又は2 「物基／化基／生基／地基」， 「物理」，「化学」，「生物」，「地学」 から1又は2（※4） 「英語」を1 「情報Ⅰ」を1 5（※5） ［6教科8科目から7教科8科目］	国 数 外 その他	現代の国語・言語文 数Ⅰ・数Ⅱ・数A・数B・数C（注2） 英語コミュニケーションⅠ・Ⅱ・Ⅲ，論理・表現Ⅰ・Ⅱ 出願書類（志望理由書） から1	200	100又は200		100又は200	100又は200	200	50	950	*200	*200 200		200			40	440	1,390
								500															

【大学入学共通テストの利用教科・科目等】
（※1）「新教育課程履修者」以外は，「旧教育課程履修者用」の科目を選択することが可能です。（6頁参照）
その場合は，各教科における科目について，新教育課程履修者用と照合の上，科目数不足とならないように注意してください。
（※2）「地／歴／公（地理総合／歴史総合／公共）」を選択する場合は，3つの出題範囲のうち，2つを選択解答してください。
（※3）地理歴史及び公民から2科目を選択する場合の組み合わせは，別表（7頁）を参照してください。
（※4）「理科」は次のA～Dのいずれかのパターンを選択してください。
A 「物基／化基／生基／地基」（「物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎」）において 4つの出題範囲のうち2つを選択
B 「物理」，「化学」，「生物」及び「地学」の4科目から 1 科目を選択
C 「物基／化基／生基／地基」（「物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎」）において 4つの出題範囲のうち2つを選択，
並びに「物理」，「化学」，「生物」及び「地学」の4科目から 1 科目を選択
D 「物理」，「化学」，「生物」及び「地学」の4科目から 2 科目を選択
（※5）心理支援科学科では，「地歴」，「公民」，「数学」，「理科」の組み合わせで成績を利用しますので，科目数不足とならないよう注意してください。
（例）「地歴」，「公民」か「数学」のどちらかが1科目の場合は，「理科」はC又はDパターンでの受験が必要です。

【個別学力検査等】
（注1）「数A」の出題範囲は「図形の性質，場合の数と確率」，「数B」の出題範囲は「数列」，「数C」の出題範囲は「ベクトル，平面上の曲線と複素数平面」とします。
（注2）「数A」の出題範囲は「図形の性質，場合の数と確率」，「数B」の出題範囲は「数列」，「数C」の出題範囲は「ベクトル」とします。
（注3）「理科」の得点については，得点調整を行うことがあります。
（注4）医学科の「個人面接」は，事前に提出される「調査書」及び「志望理由書」を参考資料に用いて実施します。
（注5）保健学科の総合型選抜Ⅱの「個人面接」は，「調査書」及び「志望理由書」を参考資料に用いて実施します。

【大学入学共通テストの配点等】
○「英語」の配点については，リーディング（100 点満点）とリスニング（100 点満点）の合計得点（200 点満点）とします。
リスニングを免除された場合は，リーディングの成績を 200 点満点に 換算して利用します。
○ 受験を要する教科・科目数を超えて受験している場合は，得点の高い教科・科目の成績を用います。
ただし，医学科及び保健学科においては，「地歴」，「公民」について，第1解答科目の成績を用います。
また，心理支援科学科においては，「地歴」，「公民」及び「理科」について，第1解答科目の成績を優先して用います。
○ 医学科の前期日程では，大学入学共通テストの「理科」の配点については，物理，化学，生物から選択した2科目の得点をそれぞれ1.5倍して合計した点数を利用します。

【個別学力検査等の配点等】
○ 保健学科の総合型選抜Ⅱでは，「志望理由書」をA～Dに4段階評価し，点数化します。
各段階の評価点数は，A:100点，B:75点，C:50点，D:25点とします。
○ 心理支援科学科の一般選抜（前期日程）では，「志望理由書」をA～Dに4段階評価し，点数化します。
各段階の評価点数は，A:40点，B:30点，C:20点，D:10点とします。
○ 配点に＊印を付している教科は，選択を表します。

【その他】
○ 医学科の2段階選抜は，前期日程の志願倍率が8倍を超える場合に，大学入学共通テストの教科・科目の成績の合計点により行い，その合格者に個別学力検査等を行います。ただし，上記倍率を超えた場合でも個別学力検査を適切に実施できると判断した場合は，第1段階選抜の倍率を緩和することがあります。

令和7年度　入学者選抜の実施教科・科目等

理　工　学　部

学部名	入試区分	学科等名	大学入学共通テストの利用教科・科目名 教科	科目名等（※1）	個別学力検査等 教科等	科目名等	大学入学共通テストの配点 国語	地歴	公民	数学	理科	外国語	情報	計	個別学力検査等の配点 国語	数学	理科	外国語	小論文	面接	計	合計点
理工学部	一般前期	数物科学科（数学選択）	国 地歴 公民 数 理 外 情	「国語」　を1 「地総，地探」，「歴総，日探」，「歴総，世探」，「地／歴／公」 「公，倫」，「公，政・経」，「地／歴／公（再掲）」　から1（※2） 「数学Ⅰ」，「数学Ⅰ，数学A」　から1 「数学Ⅱ，数学B，数学C」　を1 「物基／化基／生基／地基」，「物理」，「化学」，「生物」，「地学」　から2（※3） 「英語」　を1 「情報Ⅰ」　を1 ［ 6教科8科目 ］	数	数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・数A・数B・数C（注1）	200	100		200	200	200	50	950		800					800	1,750
		数物科学科（数学理科選択） 地球環境防災学科 電子情報工学科 機械科学科			数 理	数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・数A・数B・数C（注1） 物理基礎・物理 化学基礎・化学　から1（注2）										300	500（注2）				800	1,750
		物質創成化学科 自然エネルギー学科			数 理	数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・数A・数B・数C（注1） 物理基礎・物理 化学基礎・化学　から1（注2）										150	650（注2）				800	1,750
	一般後期	数物科学科（数学選択）			数	数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・数A・数B・数C（注1）	200	100		200	200	200	50	950		600					600	1,550
		数物科学科（理科選択） 物質創成化学科 地球環境防災学科 電子情報工学科 機械科学科 自然エネルギー学科			理	物理基礎・物理 化学基礎・化学　から1（注2）											600（注2）				600	1,550
	総合Ⅰ	数物科学科 物質創成化学科 地球環境防災学科 電子情報工学科 機械科学科 自然エネルギー学科	大学入学共通テストを課しません。 ただし，合格者は，大学入学共通テストを受験する必要があります。詳細については，募集要項をご覧ください。		その他	講義の実施とその内容に関するレポート 個人面接（基礎学力に関する試問を含む）（注3）										レポート：200 面接：300（注3） 合計点：500						

【大学入学共通テストの利用教科・科目等】

（※1）「新教育課程履修者」以外は，「旧教育課程履修者用」の科目を選択することが可能です。（6頁参照）
その場合は，各教科における科目について，新教育課程履修者用と照合の上，科目数不足とならないように注意してください。

（※2）「地／歴／公（地理総合／歴史総合／公共）」を選択する場合は，3つの出題範囲のうち，2つを選択解答してください。

（※3）「理科」は次のC又はDのパターンを選択してください。ただし，いずれの選択においても，「物理」又は「化学」の科目を最低1つ含むことが必要となります。
C 「物基／化基／生基／地基」（「物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎」）において 4つの出題範囲のうち2つを選択，並びに「物理」，「化学」，「生物」及び「地学」の4科目から 1 科目を選択
D 「物理」，「化学」，「生物」及び「地学」の4科目から 2 科目を選択

【個別学力検査等】

（注1）「数A」の出題範囲は「図形の性質，場合の数と確率」，「数B」の出題範囲は「数列」，「数C」の出題範囲は「ベクトル，平面上の曲線と複素数平面」とします。

（注2）「理科」の得点については，得点調整を行うことがあります。

（注3）総合型選抜Ⅰの「個人面接」は，事前に提出される「調査書」及び「志望理由書」を参考資料に用いて実施します。

【大学入学共通テストの配点等】

○「英語」の配点については，リーディング（100 点満点）とリスニング（100 点満点）の合計得点（200 点満点）とします。
リスニングを免除された場合は,リーディングの成績を 200 点満点に 換算して利用します。

○ 受験を要する教科・科目数を超えて受験している場合は，得点の高い教科・科目の成績を用います。ただし，「地歴」，「公民」については，第1解答科目の成績を用います。

令和7年度　入学者選抜の実施教科・科目等

農学生命科学部

学部名	入試区分	学科等名	大学入学共通テストの利用教科・科目名 教科	科目名等（※1）	個別学力検査等 教科等	科目名等	大学入学共通テストの配点 国語	地歴	公民	数学	理科	外国語	情報	計	個別学力検査等の配点 国語	数学	理科	外国語	小論文	面接	計	合計点
農学生命科学部	一般前期	生物学科 分子生命科学科 食料資源学科 国際園芸農学科	国 地歴 公民 数 理	「国語」を1 「地総，地探」，「歴総，日探」，「歴総，世探」，「地／歴／公」 「公，倫」，「公，政・経」，「地／歴／公（再掲）」 から1（※2） 「数学Ⅰ」，「数学Ⅰ，数学A」から1 「数学Ⅱ，数学B，数学C」を1 「物基／化基／生基／地基」，「物理」，「化学」，「生物」，「地学」 から2（※3）	理	化学基礎・化学 生物基礎・生物 から1（注1）	200	100		200	200	200	50	950			400（注1）				400	1,350
		地域環境工学科			数	数Ⅰ・数Ⅱ・数A・数B・数C（注2）										400					400	1,350
	一般後期	生物学科 分子生命科学科 食料資源学科 国際園芸農学科 地域環境工学科	外 情	「英語」を1 「情報Ⅰ」を1 ［ 6教科8科目 ］	理	化学基礎・化学 生物基礎・生物 から1（注1）	200	100		200	200	200	50	950			500（注1）				500	1,450
	総合Ⅰ	生物学科 分子生命科学科 食料資源学科 国際園芸農学科 地域環境工学科	大学入学共通テストを課しません。 ただし，合格者は，大学入学共通テストを受験する必要があります。 詳細については，募集要項をご覧ください。		その他	小論文 個人面接（基礎学力に関する試問を含む）（注3）													小論文 300	面接 450（注3）	合計点 750	

【大学入学共通テストの利用教科・科目等】
（※1）「新教育課程履修者」以外は，「旧教育課程履修者用」の科目を選択することが可能です。（6頁参照）
その場合は，各教科における科目について，新教育課程履修者用と照合の上，科目数不足とならないように注意してください。
（※2）「地／歴／公（地理総合／歴史総合／公共）」を選択する場合は，3つの出題範囲のうち，2つを選択解答してください。
（※3）「理科」は次のC又はDのパターンを選択してください。
C 「物基／化基／生基／地基」（「物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎」）において 4つの出題範囲のうち2つを選択，並びに「物理」，「化学」，「生物」及び「地学」の4科目から 1 科目を選択
D 「物理」，「化学」，「生物」及び「地学」の4科目から 2 科目を選択

【個別学力検査等】
（注1）「理科」の得点については，得点調整を行うことがあります。
（注2）「数A」の出題範囲は「図形の性質，場合の数と確率」，「数B」の出題範囲は「数列」，「数C」の出題範囲は「ベクトル」とします。
（注3）総合型選抜Ⅰの「個人面接」は，事前に提出される「調査書」及び「志望理由書」を参考資料に用いて実施します。

【大学入学共通テストの配点等】
○「英語」の配点については，リーディング（100 点満点）とリスニング（100 点満点）の合計得点（200 点満点）とします。
リスニングを免除された場合は,リーディングの成績を 200 点満点に 換算して利用します。
○ 受験を要する教科・科目数を超えて受験している場合は，得点の高い教科・科目の成績を用います。
ただし，「地歴」，「公民」については，第1解答科目の成績を用います。

※下記の内容は予定であり，変更する場合があります。

詳細は，HP，入学者選抜要項等でご確認ください。

令和７年度 総合型選抜Ⅰ合格者の大学入学共通テスト受験について

総合型選抜Ⅰでは，大学入学共通テストを課していませんが，大学入学までの勉学意欲の継続という趣旨に鑑み，合格者は大学入学共通テストを必ず受験してください。
なお，共通テストの成績が合否に影響することはありません。

共通テストの受験教科・科目については，下記を予定しています（全学部共通）。
（「新教育課程履修者」以外は，「旧教育課程履修者用」の科目を選択することが可能です。）

■共通テストの出題教科・科目

国　語	「国語」	1	
地　歴	「地理総合，地理探究」，「歴史総合，日本史探究」，「歴史総合，世界史探究」，「地理総合／歴史総合／公共」	1又は2	5
公　民	「公共，倫理」，「公共，政治・経済」，「地理総合／歴史総合／公共（再掲）」		
数学①	「数学Ⅰ」，「数学Ⅰ，数学A」	1又は2	
数学②	「数学Ⅱ，数学B，数学C」		
理　科	「物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎」，「物理」，「化学」，「生物」，「地学」	1又は2	
外国語	「英語（ﾘｽﾆﾝｸﾞを含む）」	1	
情　報	「情報Ⅰ」	1	

【6教科8科目から7教科8科目】

入学試験についての問合せ先

〒036-8560　青森県弘前市文京町１番地
弘前大学学務部入試課
TEL. 0172-39-3122
FAX. 0172-39-3125
E-mail　nyushi@hirosaki-u.ac.jp

弘前大学入試課ホームページ
https://nyushi.hirosaki-u.ac.jp

人文社会科学部

１）人文社会科学部が求める学生像

人文社会科学部では，多元的な文化理解と現代社会に対する多面的理解を重視したカリキュラムを提供することによって，地域文化を含む自国の文化を創造し発信する力，地域課題を含めて現代社会が直面している諸課題を発見・分析・解決する力を養い，社会に貢献する人材の育成を目的としています。

そのような人材の育成を目指すにあたって，「卒業認定・学位授与の方針」（ディプロマ・ポリシー）と「教育課程編成・実施の方針」（カリキュラム・ポリシー）を十分に理解し，以下に掲げる学力・行動力・意欲を有する学生を求めます。

・人文科学と社会科学の諸領域（考古学，歴史学，文学，哲学，法学，経済学，経営学，社会学等）に関わる専門的知識・技能を習得するための基礎学力
・学んだ専門的知識・技能を文化の振興や社会の発展に役立てるための行動力
・人間文化の発展に貢献することや現代社会が直面する複雑な問題を解決することへの意欲

また，人文社会科学部の各課程は，それぞれ次のような学生を求めます。

【文化創生課程】

・地域社会の発展のために，地域の文化振興や地域のグローバル化の推進等の活動を担っていけるような行動力のある人
・国内外の有形無形の文化を人類共通の遺産として次世代に伝えていくこと，深い歴史認識に立って世界情勢を的確に見極めることに意欲的である人

【社会経営課程】

・地域社会の発展のために，自治体の政策立案や地域産業の育成，地域住民との協働による問題解決等に貢献していくことができるような行動力のある人
・少子高齢化や人口減少，経済・産業基盤の変化等，現代社会が直面する諸課題を解決することに意欲的である人

２）入学志願者に求める学習の取組

・教科・科目の学習を通して，歴史文化や社会に関する基礎知識をはじめ，論理的思考力・情報処理能力，コミュニケーション能力等を身に付けておく必要があります。
・グループ学習等の体験型学習を通して，自分自身の考えを積極的に発信していく力や学習に主体的に参加する姿勢を身に付けておく必要があります。
・物事を多面的に理解し，複雑化した問題を的確に分析する力を養うために，国内外の様々な問題に広く関心を持つ姿勢や，多様な分野の学習に積極的に取り組む姿勢を身に付けておく必要があります。

３）入学者選抜の基本方針

人文社会科学部では，人文社会科学分野の人材として育つにふさわしい学力・行動力・意欲を有する学生を選抜する目的で，多面的・総合的な評価方法により，別表のとおり入学者を選考します。

※令和7（2025）年度入学者より適用

【別表１】入学者選抜方法と重点評価項目

選抜区分	選抜方法	目的と概要	重点評価項目		
			学力	行動力	意欲
一般選抜（前期）	共通テスト	高等学校卒業レベルの学習の達成度を評価するという観点から，左記の選抜方法に基づいて総合的に評価して選抜します。	○		
	個別学力検査				
一般選抜（後期）	共通テスト	高等学校卒業レベルの学習の成果を幅広く応用・展開し，様々な課題を多面的に把握し解決するための資質・能力を評価するという観点から，左記の選抜方法に基づいて総合的に評価して選抜します。	○		
	小論文				
総合型選抜Ⅰ	小論文	本学部のアドミッション・ポリシーを正しく理解した上で，本学部のカリキュラムに基づく学習を主体的に進めていくための資質・能力，適性，意欲・関心等を評価するという観点から，左記の選抜方法に基づいて総合的に評価して選抜します。	○	○	○
	個人面接				
	調査書				
	学習計画書				

【別表２】選抜方法の内容と評価要素

選抜方法	選抜区分	選抜方法の内容と評価要素
小論文	一般・後期	人間の営みや現代社会が直面している課題等について，文献等の資料を提示し自分の考えを述べさせます。 資料が示していることを十分に理解しているか，設問に対して自分の考えを論理的に述べているか，日本語の文章表現として適切であるか等を判断基準として，「学力」を評価します。
	総合Ⅰ	一つのテーマについて論述させます。 設問に対して自分の考えを論理的に述べているか，日本語の文章表現として適切であるか等を判断基準として，「学力」を評価します。
個人面接	総合Ⅰ	自己PR，志望理由と入学後の学習計画，大学卒業後の進路等について口頭発表させ，発表内容に関する質疑応答を行います。 アドミッション・ポリシーを念頭に置いた志望課程への関心と意欲が高いか，大学入学後の学習計画と将来への見通しについては明確か，質疑応答が的確になされているか等を判断基準として，「学力」，「行動力」，「意欲」を評価します。
調査書	総合Ⅰ	高等学校での科目の履修状況と学習成果，教科外活動の状況，社会貢献活動・各種の資格の取得状況等を判断基準として，「学力」，「行動力」，「意欲」を評価します。
学習計画書	総合Ⅰ	志望理由，入学後の学習計画と大学卒業後の進路等について，これまでの勉学や様々な活動を通して得た経験を元に記述させます。 アドミッション・ポリシーを理解し自己PRができているか，志望理由が明確で学習計画は的確に立てられているか，将来の進路希望は明確か等を判断基準として，「学力」，「行動力」，「意欲」を評価します。

教　育　学　部

１）教育学部が求める学生像

教育学部では，子どもの発育発達や能力に応じた主体的な学びを支援することのできる，学校現場で活躍できる専門力と実践力を兼ね備えた教員を養成することを目的としています。この観点から「卒業認定・学位授与の方針」（ディプロマ・ポリシー）と「教育課程編成・実施の方針」（カリキュラム・ポリシー）を十分に理解し，以下に掲げる学力・行動力・意欲を有する学生を求めます。

・将来，教員になるための素養と，入学後に修める教養教育と専門教育の基礎となる学力
・自立した個人として，または多様な人々と協働して，地域社会における教育に参画していこうとする行動力
・教育者を目指して知的・人格的に成長していこうとする意欲

また，教育学部の各課程・専攻は，それぞれ次のような学生を求めます。

【学校教育教員養成課程　初等中等教育専攻】
・小・中学校等の教員として必要な専門力・実践力を身に付けるために，自律的・協働的な態度で学習活動に取り組む行動力のある人
・将来，小・中学校等の教員として，学校教育に貢献したいという強い意志と，明確な目標を持っている人

【学校教育教員養成課程　特別支援教育専攻】
・障害等の特別な教育的ニーズを教育，心理，病理などの多方面から理解し支援するために，自律的・協働的な態度で学習活動に取り組む行動力のある人
・将来，特別支援学校等の教員として，特別な支援を必要とする幼児・児童・生徒の自立に向けた活動に関わることを強く希望する人

【養護教諭養成課程】
・養護教諭として必要な専門力・実践力を身に付けるために，自律的・協働的な態度で学習活動に取り組む行動力のある人
・子どもの健康に高い関心を持ち，将来，養護教諭として学校教育に貢献するという強い意志を持つ人

２）入学志願者に求める学習の取組

・高等学校で履修する教科・科目の基礎的理解だけでなく，取得する教員免許に則した深い学び，課題の把握とその解決に向けたプロセスをわかりやすく表現や説明できる力を習得しておくことが必要です。
・将来，教員として同僚や児童・生徒，保護者とのコミュニケーションを円滑に育めるように，課外活動やボランティア活動など，多様な人々と積極的に関わっていく主体的な経験が望まれます。
・日頃から社会情勢や教育問題に対して関心を持ち，困難な問題にも安易にあきらめることなく乗り越えるための努力を惜しまない姿勢と，自己を高める継続的な向上心を身に付けておくことが必要です。

３）入学者選抜の基本方針

教育学部では学力・行動力・意欲を有する学生を選抜するために，多面的・総合的な評価方法により別表のとおり入学者を選考します。

※令和7（2025）年度入学者より適用

【別表１】入学者選抜方法と重点評価項目

<table>
<tr><th rowspan="2">選抜区分</th><th rowspan="2">選抜方法</th><th rowspan="2">目的と概要</th><th colspan="3">重点評価項目</th></tr>
<tr><th>学力</th><th>行動力</th><th>意欲</th></tr>
<tr><td rowspan="4">一般選抜
（前期）</td><td colspan="2">小学校コース，中学校コース（音楽専修・美術専修・保健体育専修・技術専修を除く），特別支援教育専攻，養護教諭養成課程</td><td rowspan="4">○</td><td rowspan="4"></td><td rowspan="4"></td></tr>
<tr><td>共通テスト</td><td rowspan="3">高等学校卒業レベルの学習の達成度を評価すると共に，教員としての適性・資質・能力，教員になろうとする意欲と教育に対する興味・関心を評価するという観点から，左記の方法により総合評価して選抜します。</td></tr>
<tr><td>個別学力検査</td></tr>
<tr><td>個人面接</td></tr>
<tr><td rowspan="3">一般選抜
（後期）</td><td colspan="2">小学校コース，特別支援教育専攻</td><td rowspan="3">○</td><td rowspan="3"></td><td rowspan="3"></td></tr>
<tr><td>共通テスト</td><td rowspan="2">高等学校卒業レベルの学習の達成度を評価すると共に，教員としての適性・資質・能力，教員になろうとする意欲と教育に対する興味・関心を評価するという観点から，左記の方法により総合評価して選抜します。</td></tr>
<tr><td>個人面接</td></tr>
<tr><td rowspan="5">総合型選抜Ⅰ</td><td colspan="2">中学校コース（音楽専修・美術専修・保健体育専修・技術専修）</td><td rowspan="3">○</td><td rowspan="3"></td><td rowspan="3">○</td></tr>
<tr><td>個人面接</td><td rowspan="2">アドミッション・ポリシーを正しく理解したうえで，本学部のカリキュラムに基づく学習を主体的に進めるのに必要な，音楽・美術・保健体育・技術の教員としての基礎的な学力（技能及び知識）と資質・適性，教員になろうとする意欲と教育に対する興味・関心を評価するという観点から，左記の方法により総合評価して選抜します。</td></tr>
<tr><td>実技試験</td></tr>
<tr><td colspan="2">特別支援教育専攻</td><td rowspan="3"></td><td rowspan="3">○</td><td rowspan="3">○</td></tr>
<tr><td>個人面接</td><td rowspan="2">アドミッション・ポリシーを正しく理解したうえで，本学部のカリキュラムに基づく学習を主体的に進めるのに必要な，特別支援学校等の教員としての資質・適性，教員になろうとする意欲と教育に対する興味・関心を評価するという観点から，左記の方法により総合評価して選抜します。</td></tr>
<tr><td>集団討論</td></tr>
<tr><td>志望理由書</td></tr>
<tr><td rowspan="5">総合型選抜Ⅱ</td><td colspan="2">小学校コース，養護教諭養成課程</td><td rowspan="5"></td><td rowspan="5">○</td><td rowspan="5">○</td></tr>
<tr><td>共通テスト</td><td rowspan="4">アドミッション・ポリシーを正しく理解したうえで，本学部のカリキュラムに基づく学習を主体的に進めるのに必要な，教員としての適性・資質・能力，教員になろうとする意欲と教育に対する興味・関心を評価すると共に，高等学校卒業レベルの学習の達成度を評価するという観点から，左記の方法により総合評価して選抜します。</td></tr>
<tr><td>個人面接</td></tr>
<tr><td>集団討論</td></tr>
<tr><td>志望理由書</td></tr>
</table>

注）個人面接では，調査書を参考資料とします。

注）総合型選抜Ⅰの保健体育専修では，運動歴調査書を評価して実技の得点に含め，また，個人面接では，運動歴調査書を参考資料とします。

【別表２】選抜方法の内容と評価要素

選抜方法	選抜区分	選抜方法の内容と評価要素
個人面接	一般・前期	質疑応答等を通して，①自己表現能力，②教職への目的意識，③教員としての適性・資質・能力，④教員になろうとする意欲と教育に対する興味・関心等を把握し「行動力」と「意欲」を評価します。 総合Ⅰの美術専修及び保健体育専修においては，それぞれ美術と保健体育に関する知識を問う口頭試問も行い，「学力」も評価します。総合Ⅰの技術専修においては，実技試験で作成した成果発表と，その内容についての質疑応答も行い，技術に関する「学力」も評価します。
	一般・後期	
	総合Ⅰ	
	総合Ⅱ	
集団討論	総合Ⅰ	【小学校コース，特別支援教育専攻，養護教諭養成課程】 与えられたテーマについてグループで討論を行います。 討論を通して，①話し方・聞き方等のコミュニケーション能力，②発言内容，③教員としての適性等を把握し「学力」「行動力」「意欲」を評価します。
	総合Ⅱ	
実技試験	総合Ⅰ	【中学校コース（音楽専修・美術専修・保健体育専修・技術専修）】 事前に提示した課題または基礎運動能力テストについて実技試験を行います。 基本的な能力・技術等を把握し，音楽・美術・保健体育・技術の教員として必要な「学力」（技能・運動能力）を評価します。 音楽専修においては，演奏楽曲に関する知識等に関する口頭試問も含みます。 保健体育専修においては，運動歴調査書により得意とするスポーツ競技の成績や，活動状況等の運動歴を通して，保健体育教員として必要な資質・適性である「学力」（専門的なスポーツ能力）を評価して，実技の得点に含めます。
志望理由書	総合Ⅰ	【小学校コース，特別支援教育専攻，養護教諭養成課程】 志望理由や活動実績等の内容から，①自己表現能力，②教職への目的意識，③教員としての適性・資質・能力，④教員になろうとする意欲と教育に対する興味・関心等を把握し，主に「意欲」を評価します。
	総合Ⅱ	

医学部医学科

１）医学部医学科が求める学生像

医学部医学科では，豊かな人間性と高度の医学知識に富み，広い視野と柔軟な思考力をもって社会的役割を的確に果たすことができる医師及び医学研究者の養成を目的としています。

そのような人材の養成を目指すにあたって，「卒業認定・学位授与の方針」（ディプロマ・ポリシー）と「教育課程編成・実施の方針」（カリキュラム・ポリシー）を十分に理解し，以下に掲げる学力・行動力・意欲を有する学生を求めます。

・医学教育を受けるに十分な素養で，入学後に修める教養教育と専門教育の基礎となる学力
・他人を思いやるやさしさと社会性を持ちながら，高度で先端的な医療を地域社会と連携しながら実践してゆく行動力
・生涯にわたり医師として医療・医学に貢献したいという明確な目的を持ち，何事にも前向きに取り組み，知的・人格的に成長していこうとする意欲

２）入学志願者に求める学習の取組

・医学を修めるために，理系科目だけでなく，英語や文系科目もしっかりと履修し，応用力を伴った総合的学力を身に付けておくことが必要です。
・将来，様々な医療職と連携し，多様なニーズに対応できる医療を実践するためには，コミュニケーション能力と協調性を身に付けておくことが必要です。
・医学・医療を取り巻く社会問題や地域の動向に関心を持ち，自ら積極的に学ぶ姿勢を身に付けておくことが必要です。

３）入学者選抜の基本方針

医学部医学科では学力・行動力・意欲を有する学生を選抜するために，多面的・総合的な評価方法により別表のとおり入学者を選考します。

※令和7（2025）年度入学者より適用

【別表１】入学者選抜方法と重点評価項目

選抜区分	選抜方法	目的と概要	重点評価項目		
			学力	行動力	意欲
一般選抜（前期）	共通テスト 個別学力検査 個人面接	高等学校卒業レベルの学習の成果を幅広く応用・展開し，様々な課題を多面的に把握し解決するための資質・能力を評価するという観点から，左記の方法により総合評価して選抜します。	○		
総合型選抜Ⅱ	共通テスト 個人面接 ケーススタディの自学自習	本学科のカリキュラムに基づく学習を主体的に進めていくための資質・能力，適性，意欲・関心等を評価する観点から，左記の方法により総合評価して選抜します。		○	○
学士編入学（第2年次）	個人面接 TOEFL 学力検査（基礎自然科学・数学）	修業年限４年以上の大学卒業レベルの学習の達成度及び様々な課題を多面的に把握し解決するための資質・能力を評価するという観点から，左記の方法により総合評価して選抜します。	○	○	

注）一般選抜（前期）及び総合型選抜Ⅱの個人面接では，調査書及び志望理由書を参考資料とします。
注）学士編入学（第2年次）の面接では，志望理由書を参考資料とします。

【別表２】選抜方法の内容と評価要素

選抜方法	選抜区分	選抜方法の内容と評価要素
個人面接	一般・前期 総合Ⅱ 学士編入学	事前に提出される「志望理由書」を資料に用いて，志望理由，医療に対する関心，卒業後の進路等について，質疑応答を行うことにより，「行動力」，「意欲」を評価します。
ケーススタディの自学自習	総合Ⅱ	与えられたシナリオ及び資料を読み，自身の考えを論述させる。読解力，日本語の文章力，論理的な表現力を通して，「学力」を評価します。
TOEFL	学士編入学	英語について，修業年限４年以上の大学卒業レベルの「学力」を評価します。
学力検査（基礎自然科学・数学）	学士編入学	物理・化学・生物・数学の筆記試験をとおして，修業年限４年以上の大学卒業レベルの「学力」を評価します。

医学部保健学科

１）医学部保健学科が求める学生像

医学部保健学科では，保健医療の高度な知識及び技術を習得し，豊かな人間性と問題解決能力を備え，創造性，独創性と国際的視野を有し，社会で活躍できる人材の育成を目的としています。

そのような人材の育成を目指すにあたって，「卒業認定・学位授与の方針」（ディプロマ・ポリシー）と「教育課程編成・実施の方針」（カリキュラム・ポリシー）を十分に理解し，以下に掲げる学力・行動力・意欲を有する学生を求めます。

・保健医療専門職となるための学修に必要な基礎的学力
・将来，他の医療職者と協調しながら保健医療活動を実践するための行動力
・向上心と研究心を基に，保健医療の実践者として社会に貢献する強い意欲

また，医学部保健学科の各専攻は，それぞれ次のような学生を求めます。

【看護学専攻】
・人間や生命，健康に関心を持ち，看護専門職者として知的・人格的に成長しようとする意欲のある人
・人間の尊厳を重んじ，人や社会，文化の多様性を認め，人と良好な関係を築くことができる人

【放射線技術科学専攻】
・チーム医療の一員として積極的にコミュニケーションを図り，他の医療技術者と互いに協力し合い，より良い医療を提供するための行動力のある人
・医療を安全に行う能力を有し，生涯にわたり向上心・探究心を持ち続け，知的・人格的に成長しようとする意欲のある人

【検査技術科学専攻】
・医療従事者としての自覚とチーム医療遂行のための協調性を持ち，鋭い観察力と洞察力ならびに応用力を備えて保健医療の発展のために積極的に行動できる人
・自然科学，保健医療，臨床検査に強い関心を持ち，検査職を通して人々の健康維持・増進に積極的に取り組む意欲のある人

【理学療法学専攻】
・他者と適切な関係を築きながら，様々な人たちと協働して，障害者等が抱える問題の解決に取り組む行動力を有する人
・理学療法士として向上心・研究心を持って保健医療に取り組み，障害者等のリハビリテーションに貢献したいという強い意欲のある人

【作業療法学専攻】
・作業療法の対象者の個別の価値観や生活を尊重し，対象者の希望に沿った作業活動を考えつつ実践するための行動力のある人
・チーム医療の一員として，他職種を尊重しながら，作業療法を積極的に実行する意欲のある人

２）入学志願者に求める学習の取組

・医療従事者は，高度な知識や技術が求められますので，高等学校においては履修するすべて

の教科についての幅広い知識が必要とされます。
・チーム医療の一員として医療に関わることも多いため，課外活動やボランティア活動も含めて積極的な取り組みを行う行動力を持っていることが望まれます。
・研究心や探求心などに基づき，様々なことに関わる意欲や他者への思いやりを持つことが必要です。

３）入学者選抜の基本方針

医学部保健学科では学力・行動力・意欲を有する学生を選抜するために，多面的・総合的な評価方法により別表のとおり入学者を選考します。

※令和7（2025）年度入学者より適用

【別表１】入学者選抜方法と重点評価項目

選抜区分	選抜方法	目的と概要	重点評価項目		
			学力	行動力	意欲
一般選抜（前期）	共通テスト	高等学校卒業レベルの学習の達成度を評価するとともに，医療従事者としての資質・能力，適性，意欲・関心等を評価するという観点から，左記の方法により総合評価して選抜します。	○		
	個別学力検査				
	小論文（該当する専攻のみ）				
総合型選抜Ⅱ	共通テスト	本学科のカリキュラムに基づく学習を主体的に進めていくための基礎的学力，資質・能力，適性，意欲・関心等を評価するという観点から，左記の方法により総合評価して選抜します。	○	○	○
	小論文				
	個人面接				
	調査書				
	志望理由書				
編入学入試（第3年次）	小論文	専門教育についての学習に強い意欲と行動力を評価するという観点から，「学力」については，学力検査と小論文，「意欲」，「行動力」については個人面接で評価し，総合評価して選抜します。	○	○	○
	個人面接				
	学力検査				

注）編入学試験の個人面接では，志望理由書を基礎資料とします。

【別表２】入学者選抜方法の内容と評価要素

選抜方法	選抜区分	選抜方法の内容と評価要素
小論文	一般・前期	日本の保健医療が現代社会で直面している課題等をテーマに自身の考えを記述させます。 日本語の文章力，論理的な表現力の観点から「学力」を評価します。また，様々な課題を多面的に把握し解決するための資質・能力の観点から「意欲」，「行動力」も評価します。
	編入学	日本の保健医療が現代社会で直面している課題等をテーマに自身の考えを記述させます。 日本語の文章力，論理的な表現力の観点から「学力」を評価します。
	総合Ⅱ	
個人面接	総合Ⅱ	自己ＰＲ，志望理由，入学後の学習計画と大学卒業後の進路，高等学校での学習や課外活動等について質疑応答を行います。 志望理由，専門分野に関する興味関心についての質疑応答の内容から「意欲」，課外活動・ボランティア活動についての質疑応答の内容から「行動力」を評価します。
	編入学	
調査書	総合Ⅱ	高等学校での科目の履修状況，教科外活動の状況，ボランティア活動・プロジェクト活動など校外での活動，各種の資格・免許取得などにより，主に「行動力」を評価します。
志望理由書	総合Ⅱ	志望理由，入学後の学習計画と大学卒業後の進路等について，これまでの勉学や様々な活動を通して得た経験を基に自分の考えを記入させます。 本学科に対する理解や，専門分野に対する強い興味・関心，主体的に学び続けようとする積極性などにより，「意欲」を評価します。
学力検査	編入学	英語の基礎学力を問う問題に解答させます。 英文和訳においては英語の文章の読解力と日本語の表現力を評価します。

医学部心理支援科学科

１）医学部心理支援科学科が求める学生像

医学部心理支援科学科では，科学的思考力を有し，こころの問題を感受し，その問題を解決できる能力や生命に対する高い倫理性と豊かな人間性を有し，悩める人に寄り添い，心理支援職としての役割を通して地域住民の健康と福祉に寄与し，社会に貢献する地域のリーダーとなる人材の育成を目的としています。

そのような人材の育成を目指すにあたって，「卒業認定・学位授与の方針」（ディプロマ・ポリシー）と「教育課程編成・実施の方針」（カリキュラム・ポリシー）を十分に理解し，以下に掲げる学力・行動力・意欲を有する学生を求めます。

・心理支援職としての知識と技術を修得するのに必要な基礎学力
・他職種と連携しチームの一員として心理支援活動を実践するための行動力
・社会問題や地域の動向に関心をもち，心理支援職として社会に貢献する強い意欲

２）入学志願者に求める学習の取組

・心理支援職は，高度な知識や技術が求められますので，高等学校においては履修するすべての教科についての幅広い知識が必要とされます。
・他職種と連携しチームの一員として心理支援業務に関わることも多いため，課外活動やボランティア活動も含めて積極的な取り組みを行う行動力を持っていることが望まれます。
・幅広い研究心や探求心などに基づき，社会問題や地域の動向に関心を持ち，自ら積極的に関わる意欲や他者への思いやりを持つことが必要です。

３）入学者選抜の基本方針

医学部心理支援科学科では学力・行動力・意欲を有する学生を選抜するために，多面的・総合的な評価方法により別表のとおり入学者を選考します。

※令和7（2025）年度入学者より適用

【別表１】入学者選抜方法と重点評価項目

選抜区分	選抜方法	目的と概要	重点評価項目		
			学力	行動力	意欲
一般選抜（前期）	共通テスト	高等学校卒業レベルの学習の達成度を評価するという観点から，知識・理解力・思考力・判断力・表現力について，共通テストと個別学力検査により評価します。また，「意欲」，「行動力」については，調査書及び志望理由書により評価します。これらの結果を総合評価して選抜します。	○		
	個別学力検査				
	調査書				
	志望理由書				

【別表２】入学者選抜方法の内容と評価要素

選抜方法	選抜区分	選抜方法の内容と評価要素
調査書	一般・前期	高等学校での科目の履修状況，教科外活動の状況，ボランティア活動・プロジェクト活動など校外での活動，各種の資格・免許取得などにより，主に「行動力」を評価します。
志望理由書	一般・前期	志望理由，入学後の学習計画と大学卒業後の進路等について，これまでの勉学や様々な活動を通して得た経験を基に自分の考えを記入させます。 本学科に対する理解や，専門分野に対する強い興味・関心，主体的に学び続けようとする積極性などにより，「意欲」を評価します。

理　工　学　部

1）理工学部が求める学生像

理工学部では，変化する現代社会に対応できる幅広い視野と科学・技術の発展に貢献できる力を養うカリキュラムを提供することによって，自然の仕組みを探究する力，先端技術社会を支える科学を発展させ技術を創造する力，変化する現代社会が直面する課題を発見・分析・解決する力を養い，地域や国際社会に貢献する人材の育成を目的としています。

そのような人材の育成を目指すにあたって，「卒業認定・学位授与の方針」（ディプロマ・ポリシー）と「教育課程編成・実施の方針」（カリキュラム・ポリシー）を十分に理解し，以下に掲げる学力・行動力・意欲を有する学生を求めます。

・専門教育の基礎となる理数系の学力，及び社会の中で専門的能力を活かすための基礎学力
・高等学校までに学習すべき課題に真摯に取り組むとともに，自らの個性や資質に合わせてその他の活動にも積極的に参加し，自らを成長させていく行動力
・専門を生かして新たな課題を見いだし，解決するために学び続ける意欲

また，理工学部の各学科は，それぞれ次のような学生を求めます。

【数物科学科】

（数学型）

・数理科学への強い興味を持ち，数理科学に関する分野の学習に興味を持って取り組む意欲のある人
・探究心が旺盛で豊かな数学的知識と自在な数理的応用力をもって社会に貢献する意欲のある人

（物理型）

・自然の基本原理に興味を持ち，物理学に関する分野の学習に興味を持って取り組む意欲のある人
・物質を構成しその性質を決定している量子の世界から広大な宇宙の世界までを支配している自然の基本原理を理解し，より深く探求することやその成果を社会へ還元することに意欲のある人

【物質創成化学科】

・化学物質の構造や化学反応の仕組みを物質の機能と結びつけて探求することに興味を持ち，化学に関する分野の学習に興味を持って取り組む意欲のある人
・自ら課題を見いだし，暮らしを豊かにする機能性物質や環境調和を指向した機能性材料を創成し，リサイクル，省資源，エネルギー創成技術等に関する諸課題を解決するための研究開発に意欲のある人

【地球環境防災学科】

・宇宙空間，大気・水圏，地質・岩石，地震・火山等を対象とした地球科学に関する分野の学習に興味を持って取り組む意欲を持つ人
・自ら課題を見いだし，地球に関する科学の深化や，地球環境問題の解決，自然災害の防止に貢献することに意欲のある人

【電子情報工学科】

・電子回路，電子材料，コンピュータとソフトウェア，通信ネットワーク，セキュリティ，組込みシステムなどの電子情報工学に関する分野の学習に興味を持って取り組む意欲のある人

・電子情報工学の発展に強い関心を持ち，学んだことの成果を社会の様々な分野で活用することに意欲のある人

【機械科学科】

・医用・福祉，環境・エネルギー，航空宇宙，輸送機械，ロボット，ＡＩ，ナノテクノロジーなどの機械科学に関する分野の学習に興味を持って取り組む意欲のある人

・ものづくりに関する科学技術の発展に強い関心を持ち，失敗を恐れず継続してものごとに取り組み，学んだことの成果を社会の様々な領域で活用することに意欲のある人

【自然エネルギー学科】

・自然や人間社会に深い興味を持ち，自然エネルギーに関する多様な分野の学習に興味を持って取り組む意欲のある人

・地域に存在する自然エネルギー源を利用することや，その活用に意欲のある人

２）入学志願者に求める学習の取組

・理工学分野の学問を学ぶために必要な力として，論理的思考力，自然科学に関する基礎知識，表現やコミュニケーションの能力を身に付けておくことが必要です。

・自ら課題を探求し，主体的に取り組む学習態度，新しい発見や創造的な活動に取り組むための行動力が必要です。また，他者と協働して学習や研究などに取り組むことができる行動力や学習態度が必要です。

・困難な課題に対しても安易にあきらめることなく取り組み，やり遂げようとする意欲を持ち続けることが必要です。また，自然界の仕組みや社会を支える技術について日頃から興味を持ち，学習に自発的に取り組む態度が必要です。

３）　入学者選抜の基本方針

理工学部では，前記の学力・行動力・意欲を有する学生を選抜するために，多面的・総合的な評価方法により，別表のとおり入学者を選考します。

※令和7（2025）年度入学者より適用

【別表１】入学者選抜方法と重点評価項目

選抜区分	選抜方法	目的と概要	重点評価項目		
			学力	行動力	意欲
一般選抜（前期）	共通テスト 個別学力検査	高等学校卒業レベルの学習の達成度を評価するという観点から，左記の選抜方法により総合的に評価して選抜します。	○		
一般選抜（後期）	共通テスト 個別学力検査	高等学校卒業レベルの学習の達成度を評価するという観点から，左記の選抜方法により総合的に評価して選抜します。	○		
総合型選抜Ⅰ	講義の実施とその内容に関するレポート 個人面接	本学部のカリキュラムに基づく学習を主体的に進めていくための資質・能力や適性，意欲・関心などを評価するという観点から，左記の選抜方法により総合評価して選抜します。	○	○	○
編入学入試（第3年次）推薦	個人面接 調査書 志望理由書 推薦書	本学部のカリキュラムに基づく専門科目の学習を主体的に進めていくための資質・能力や適性，意欲・関心などを評価するという観点から，左記の選抜方法により総合評価して選抜します。 なお，個人面接においては，基礎学力に関する試問を含みません。	○	○	○
編入学入試（第3年次）一般	個人面接 調査書又は成績証明書 志望理由書	本学部のカリキュラムに基づく専門科目の学習を主体的に進めていくための資質・能力や適性，意欲・関心などを評価するという観点から，左記の選抜方法により総合評価して選抜します。	○	○	○

注）総合型選抜Ⅰの個人面接では，調査書及び志望理由書を参考資料とします。

【別表２】入学者選抜方法の内容と評価要素

選抜方法	選抜区分	選抜方法の内容と評価要素
講義の実施とその内容に関するレポート	総合Ⅰ	学部において実施する講義に，能動的に対応するために必要な「学力」及び「行動力」を評価します。
個人面接	総合Ⅰ 編入学	志望動機，入学後の履修計画，卒業後の見通しなどに関する総合的な質疑により，「意欲」及び「行動力」を評価します。 また，総合型選抜Ⅰ及び編入学入試一般では，基礎学力に関する試問において，学部のカリキュラムに基づく学習を進めるために必要な「学力」を評価します。 なお，編入学入試推薦においては，基礎学力に関する試問を含みません。
調査書又は成績証明書	編入学	これまでの学習に対する取組状況から，「行動力」の評価を行います。また，3年次以降の履修に対応する「学力」についても評価します。
志望理由書	編入学	志望理由と理工学部のアドミッション・ポリシーとの整合性から，「意欲」に関する評価を行います。
推薦書	編入学	これまでの学習に対する取組や学習意欲に関する客観評価から，「意欲」及び「行動力」の評価を行います。

農学生命科学部

１）農学生命科学部が求める学生像

農学生命科学部では，農学と生命科学分野の基礎的・専門的な知識を身につけ，課題探求・問題解決能力を備えた専門技術者・研究者として活躍でき，創造性と主体性をもって地域はもとより国際的にも活躍できる人材を育成することを目的としています。この目的のため，「卒業認定・学位授与の方針」（ディプロマ・ポリシー）と「教育課程編成・実施の方針」（カリキュラム・ポリシー）を十分に理解し，以下に掲げる学力・行動力・意欲を有する学生を求めます。

・入学後に修める教養教育や，農学及び生命科学の各分野の専門教育に必要な基礎学力（高等学校の教科全般，特に理科，英語，数学）
・農学及び生命科学を通して国際社会や地域社会に参画しようとする行動力
・農学と生命科学に興味を持ち，これらの基礎的・専門的な知識を継続的に学びたいとする意欲

また，農学生命科学部の各学科は，それぞれ次のような学生を求めます。

【生物学科】
・生物学の遺伝子レベルから生態系レベルにわたる様々な基礎的知識や応用的知識を，実社会への参画をみすえ，積極的に身に付けようとする行動力を持つ人
・生物学に強い興味を持ち，動植物の生命現象の解析を通じて，生物の基礎的現象の仕組みや生物が持つ多様性，適応戦略，進化のメカニズムの解明に意欲のある人

【分子生命科学科】
・分子レベルでの生命現象の理解や知識を活用した産業（例えば，医薬品，食品，化学工業など）及び学問分野で活躍しようとする行動力を持つ人
・生命現象の仕組みや機能に興味を持ち，高校で学習した生物や化学の知識を基に分子レベルでこれを理解し，さらに追求する意欲のある人

【食料資源学科】
・バイオテクノロジー，食品科学，作物生産環境について目的意識を持って学ぶことができ，これらの研究を積極的に行うことができる行動力を持つ人
・学びの中から様々な課題を自ら見いだし，解決する力を養い，学修後にそれを食料生産や食品産業に役立てようとする意欲のある人

【国際園芸農学科】
・地域農業の活性化や国際的な展開に取り組む行動力を持つ人
・農業生産の技術とその原理を学ぶことに意欲のある人
・食と農の経済を学ぶことに意欲のある人

【地域環境工学科】
・自立した農業土木技術者として，社会的責任を自覚し，自主的継続的に学修し，多様な人々と協働し，国内外の地域社会に参画していこうとする行動力を持つ人
・数学や物理学などの自然科学に関する工学基礎知識を身に付け，水・土・農業土木関連施設や農村・山間地に関わる総合的な工学知識を習得した農業土木技術者を目指し，国内外の地域社会の問題解決や発展に貢献しようとする意欲のある人

２）入学志願者に求める学習の取組

・農学及び生命科学の各分野の教育を受けるために必要な基礎学力だけではなく，論理的思考力，読解力，記述能力などの修得が必要です。
・自分自身の考えを持ち，様々な課題に立ち向かい，解決する行動力を身に付けておくことが必要です。
・実験室のみならずフィールドでの学習・研究活動を自主的かつ積極的に取り組む意欲が必要です。

３）入学者選抜の基本方針

農学生命科学部では学力・行動力・意欲を有する学生を選抜するために，多面的・総合的な評価方法により別表のとおり入学者を選考します。

※令和7（2025）年度入学者より適用

【別表１】入学者選抜方法と重点評価項目

選抜区分	選抜方法	目的と概要	重点評価項目		
			学力	行動力	意欲
一般選抜（前期）	共通テスト 個別学力検査	高等学校卒業レベルの学習の達成度を評価するという観点から，共通テストと個別学力検査により「学力」を評価します。	○		
一般選抜（後期）	共通テスト 個別学力検査	高等学校卒業レベルの学習の達成度を評価するという観点から，共通テストと個別学力検査により「学力」を評価します	○		
総合型選抜Ⅰ	小論文 個人面接	アドミッション・ポリシーを正しく理解したうえで，本学部のカリキュラムに基づく学習を主体的に進めていくための資質・能力，適性，意欲・関心などを評価するという観点から，左記の方法により総合評価して選抜します。	○	○	○
編入学入試（第3年次）	個人面接 編入学願 成績証明書	本学部で専門教育を受けるために必要な「学力」，「行動力」，「意欲」を評価するという観点から，左記の方法により総合評価して選抜します。	○	○	○

注）総合型選抜Ⅰの個人面接では，調査書及び志望理由書を参考資料とします。

【別表２】入学者選抜方法の内容と評価要素

選抜方法	選抜区分	選抜方法の内容と評価要素
小論文	総合Ⅰ	農学や生命科学などに関連するいくつかのテーマについて論述させます。論理的思考力，読解力，記述能力などにより，「学力」を評価します。
個人面接	総合Ⅰ 編入学	志望理由，興味・関心がある研究分野，入学前の学習などへの取組状況，将来への展望などに関する総合的な質疑により，「行動力」及び「意欲」の評価を行います。総合型選抜Ⅰでは，調査書と志望理由書をこれらの評価の参考資料として用います。 また，総合型選抜Ⅰでは，基礎学力に関する試問において，学部のカリキュラムに基づく学習を進めるために必要な「学力」を評価します。 なお，編入学入試では，試問により，3年次以降の履修に対応するために必要な「学力」を評価します。
編入学願	編入学	本学部に対する理解，専門分野に対する強い興味・関心，主体的に学び続けようとする積極性などから，「行動力」及び「意欲」を評価します。
成績証明書	編入学	教養科目や専門科目の成績により，3年次以降の履修に対応する「学力」を評価します。